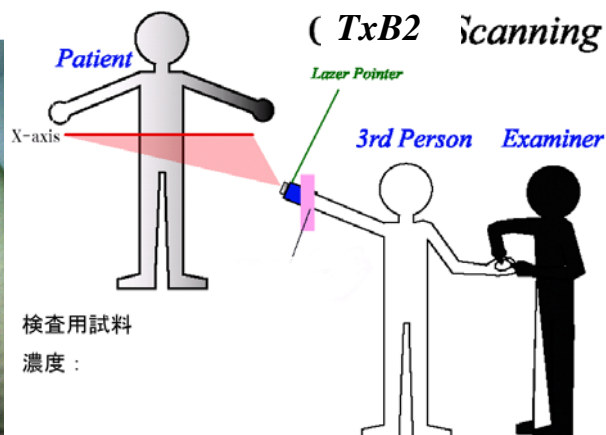
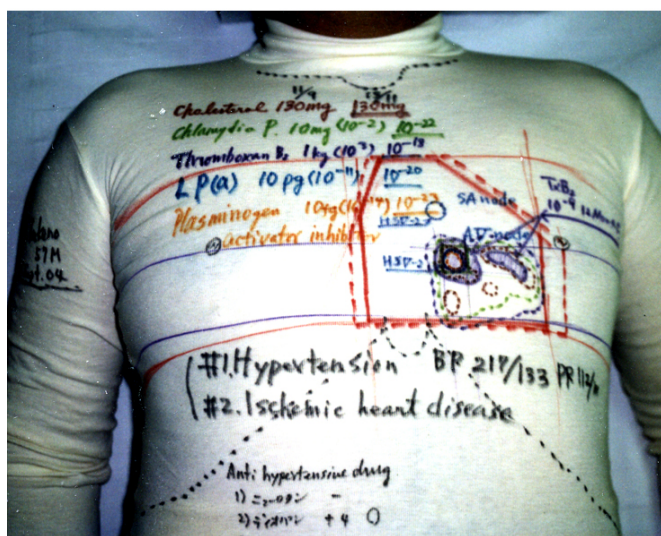


# レーザーを用いた心臓血管障害スクリーニング

説明・内容



バイ・デジタルオーリングテストを用いて、シャツ（ORT ボディーカルテ）に異常がある部分を描いていきます。赤い線で囲まれた部分が心臓です。青い線で囲まれた部分がトロンボキサン B2（TxB2）と言う循環障害の指標です。黄緑色で囲んだ部分が肺炎クラミジアが感染している部分、褐色で囲んだ部分がコレステロールの蓄積した部分です。

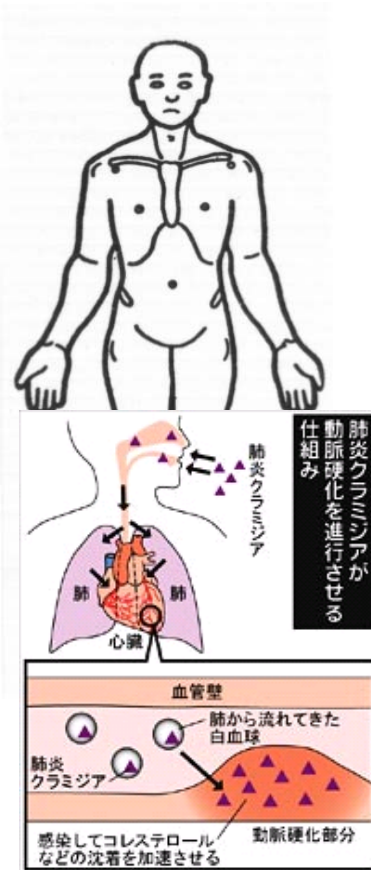
これらに異常があると、動脈硬化がかなり進んでいると判断されます。そのため、当院では、血圧、FORM 検査、心電図検査、採血等の結果と合わせて御指導しています。異常反応のある所に循環障害がある可能性があります。TxB2 が高値だと循環障害・動脈硬化がある可能性がみられ、BDORT では、循環障害が起きて、病巣に薬剤が到達しにくくなるため、TxB2 を減らして、治療効果を高めることが重要とされている。コレステロールが高い場合は、食生活を改善する必要があります。医師の指示に従い、予防治療して下さい。

Dr コメント

医師 下津浦 康裕

## 患者様の目標 肺炎クラミジアの治療

### 説明・内容 検査結果) 肺炎クラミジア IgG(+)



#### 肺炎クラミジアから心筋梗塞に

肺炎クラミジアは、喉の気道に取りつき、炎症を起こします。抵抗力の強い体内では、肺炎クラミジアと闘うために免疫細胞のマクロファージが出動。肺炎クラミジアはマクロファージによって食べられ、炎症も治まります。しかし肺炎クラミジアの怖いところは、生命力が異様に強いこと。時として、マクロファージの中でひっそりと生き続けることもあるのです。肺炎クラミジアは、人の細胞内に寄生するタイプの細菌で、白血球に食べられても、その中で生き残ることが可能だ。これに寄生された細胞は、悪玉コレステロール (LDL) を活発に取り込み、血栓ができやすくなるような化学物質を放出する。こうした性質を考え合わせ、次のような仮説が一般的になっている。

〈1〉高脂血症の状態では血管の壁に傷がつくと、その傷に血小板やLDLなどが集まってかゆ状の沈着物がたまり、初期の動脈硬化が始まる

〈2〉白血球に潜んだ肺炎クラミジアが血液に乗ってこの病変部に運ばれ住みついて慢性的な炎症を起こす

〈3〉免疫反応で生み出された様々な化学物質が、沈着物の蓄積を早め、動脈硬化を進展させる。

97年、英国のグループは心筋梗塞の患者約200人を対象に、抗生物質を投与して効果を調べたところ、その後の発作の再発率が3分の1以下に減少した、との研究をまとめた。

放っておくと、心筋梗塞や脳血管障害の原因になるので、早期治療が必要です。

#### クラミジアに対する抗生物質

a) クラリシッド 2T1×14日分 b) ジスロマック 2T1×3日分 c) ケテック 2T1×5日分  
歯ブラシ消毒の重要性

肺炎クラミジアは抗生物質で治療しても、歯ブラシや寝具が消毒されていないと、なかなか改善しません。

熱湯消毒や日光消毒して、細菌を殺してから歯ミガキして下さい。

医師 下津浦 康裕